

「組合は大事」の声胸に 活動の積み重ね 未来を拓く



CU 渋谷支部のバレンタイン宣伝(2026年2月14日)



支部結成以来毎月行動! 中野で最賃宣伝

CU 中野支部は 2017 年の結成以来、毎月 1 回中野駅で、最低賃金引き上げと CU 加入を訴えて宣伝を続けています。2月14日(土)午後に行ないました。この日は「看護師や介護職員の増員」「ケア労働者の賃上げ・待遇改善」の運動と共同して宣伝、中野労連やボトムアップ(中野の最賃運動組織)からも応援がありました。

総選挙直後、自民党「圧勝」で街の雰囲気心配でしたが、右傾化や戦争する国づくりへの危機感が感じられました。私たちの宣伝への反響がい

つになく強く「何を訴えているの?」「組合は大事、頑張って」など問いかけや励ましもありました。また、通り過ぎてから戻って来てリーフを受け取る人もいました。準備したリーフとティッシュ 200 部は 40 分ほどでなくなりました。





コールセンターで セクハラを受け休職

台東支部書記長 山田三平

昨年12月、CU東京本部に、母親に伴われ、女性が相談に来た。

業務委託で働いていた。上司のAに、昼も夜も食事に誘われ、「休日に遊びに行こう」と、さそわれたのを断ると、「その日なにしてたの」と聞いてくる。Aは上司でもあり、仕事を教える立場の人でもあり、断るのに勇気がいった。家にいても気になり怖かった。9月に、とうとう声が出なくなり、医者は「声まで出なくなり限界…」と診断。以後休職している。社会保険に加入しておらず、雇用保険もなく、たちまち生活に窮して生保を受けている。

最初から雇用契約書ではなく「顧客紹介契約書」、入社当初は時給が1800円と言われたが、支払通知

書には名目が「業務委託手数料」と書かれ、消費税を載せて総額が記されていた。その後、時給ではなく固定給に移るよう言われたが契約書はなく、明細もなくなった。総額で振り込まれるだけとなった。週4日で9時から18時、朝10分前の朝礼に出ることを義務付けられており、シフトで厳格に「労働時間」管理がされている。

相談を受け、実態から見れば「労働者」であること、酷いセクハラを受け精神疾患を発症したこと、労災であることを会社に認めさせることにした。

なによりも、健康な体を取り戻すことが一番の課題である。

上野駅近くの町会会館を借りた組合員交流会
(2025年11月30日)



ベトナムへ、DD11-2号を訪ねる旅 No.4

CU東京品川支部書記長 佐藤盛雄

ベトナム戦争を繰り返すな

3月8日は観光が中心となり、まず統一会堂（旧南ベトナム官邸）を見学した。ベトナム戦争時、最初に突入した戦車のレプリカや当時の官邸内部を見学できた。戦争証跡博物館はアジアで唯一、世界の博物館のベスト10に入っており、ベトナム国内で300万人以上が犠牲になったベトナム戦争を忘れず、繰り返してはいけないと作られた。外には当時の飛行機、戦車、大砲があり、内部には当時の人民がいかに闘ったか、米軍の枯葉剤など残虐な行為も展示されていた。これを見て、いまのロシアのウクライナ侵略やガザの現状が、頭の中で重なった。

ベトナム「鉄道博物館」構想

その後に市内で偶然、ベトナムの各民族(キン族が86%、他に53の民族)のパレードを見ることができた。市内中央の2000店がひしめくベントイン市場で土産の買い物をした後、ホーチミン空港発成田行き3月9日0時20分発の飛行機で、所要時間約6時間で成田に8時に到着した。今年の日越友好協会70周年の年であり、2018年に東日本鉄道支部日越友好協会により発見されたDD11ディーゼル機関車(40数年前ベトナム戦争勝利として国労を中心として贈呈)が修復され、ニンビン駅前に飾られた。世界に1台しかないその姿を確認する旅だった。今後、ベトナム鉄道博物館の構想もあるので、東日本鉄道支部として協力する事を約束したことも報告する。(おわり)



少数民族が集まったパレード



上:旧南ベトナム大統領官邸
下:官邸に突入した戦車のレプリカ